

北方町政策審議会 グループ協議 会議要旨

グループ名	グループ4	出席委員数	5 / 6 名
日時	平成28年 9月21日(水) 9時30分～12時30分		
場所	施設見学		
<p>【協議事項】 (テーマ等)</p> <p>・見学順 北方町給食調理場 → 本巢市給食センター → 北方小学校 → 北方中学校 → 北方西小学校 → 北方南小学校</p> <p>午前9時30分北方町役場出発、北方町給食調理場到着後、研修室で調理場の石崎係長より調理場の概要について説明を受ける。研修室の小窓より、調理場内の様子について見学。(小窓からは調理場内全体は見渡せない。) 見学後本巢市給食センターへ移動。</p> <p>センター到着後二階の会議室へ案内いただき、五井所長から挨拶、栄養教諭の村山先生からセンターの概要について説明を受ける。本巢市給食センターの配送範囲は、旧の糸貫町・真正町・本巢町の幼稚園・保育園・小学校・中学校。(岐阜市西秋沢にある岐阜本巢特別支援学校を含む)、根尾村については遠距離のため、根尾に給食センターがある。村山先生の説明後外の廊下へ移動し、調理状況等について見学をする。(二階の廊下から一階の調理場の様子を順に見学できるようになっている。) 北方町より施設の状況はかなり整っている。北方町はウェットシステム(床に水を撒くため、常に床が濡れている。)。本巢市はドライシステム(床がいつも乾燥している。乾燥しているため厨房内の湿度が低く細菌の繁殖を抑えたり、床面に水がないため、跳ね水による汚染がないなどメリットがある。) また、本巢市は現在の学校給食衛生管理基準により「汚染作業区域」・「非汚染作業区域」・「その他の区域」と部屋単位で区分されているが、北方町は施設が古いため、区域ごとに区分がされていない。そのため、現在の衛生管理基準を満たしていないものと思われる。また、本巢市は区域ごとにコンピューターで室温が設定してあるが、北方町には調理場内に冷暖房の施設はないため、(スポットクーラーと扇風機のみ) 当然夏は暑く、冬は寒い。夏は室内の温度が40℃にもなる場合があるため、衛生状態に特に注意が必要と思われる。また、調理員も脱水症状にならないように注意が必要。</p> <p>北方小学校へ移動。パントリーを見学。牛乳はもう届いていた。パントリーに到着したとき、丁度、北方町給食調理場から配送車で給食が運ばれてきた。調理場の職員がコンテナで給食を運び、給食(汁物か)の温度をチェックしているのを見ることができた。届いた給食を用務員さんが一人で各クラス別に分けていた。</p>			

その後、北方中学校、北方西小学校、北方南小学校と順にパントリーの見学をした。

本巢市の給食センターは調理員が不足がちのようで、現在も調理員を募集している。

本巢市の給食センターは平成20年3月竣工で、調理能力は一日5,500食。総事業費は13億円を超える。北方町の給食調理場は昭和54年3月竣工で、調理能力は一日4,000食。建設から37年経過し老朽化もかなり進んでいるため、建て直すことも考えなければならないが、現在同様の規模の調理場を建設するとなると10億円以上はかかるものと思われる。

－次回開催予定日－

平成28年10月19日（水）午後2時30分～ 第2会議室にて

※発言順にこだわらず対応する意見については、まとめて下さい。

発言者名は未記入でお願いします。